

移動式粉末(第 3 種)消火設備

AST-75EY3 型

株式会社丸山製作所

本仕様書は、移動式粉末（第3種）消火設備（AST-75EY3）について規定します。

1. 対象物名称

2. 同上所在地

3. 概要

防護区画内の火災発生時、直近の移動式粉末を手動により操作し、粉末消火薬剤を放出させ消火するものです。

4. 消火設備

① 型式

移動式粉末（第3種）消火設備（二酸化炭素ガス加圧式）

認定型式記号：AST-75EY3

認定番号：C-495号（一財・日本消防設備安全センター認定品）

②設計準拠法規及び規格

（イ）消防法施行令、施工規則、各都市等の条例によります。

（ロ）高圧ガス保安法、日本工業規格（JIS）

③ 粉末消火薬剤量

AST-75EY3 1基に対し ABC 粉末 33kg

④基数

消防法により AST-75EY3 の設置基数は、防護対象の各部分からの水平距離が 15m 以内となるよう 1基ずつ分散設置します。

階	室名	基数
---	----	----

⑤ 配置

添付の通りです。

移動式粉末消火設備 AST-75EY3

1. 目 的

本消火設備は、屋内・屋外駐車場、自動車整備工場、飛行機格納庫、飛行機整備工場、電気室等、その他、油・電気火災を対象とする場所に設置し、これらの対象物を有効に防護するものです。

2. 構 成

本設備は、粉末貯蔵タンク・加圧用ガス容器・ホース・ノズル・クリーニング用ガス容器・格納箱から構成されており、加圧用ガス容器に充填された二酸化炭素ガスを粉末貯蔵タンク内に導入し、そのガス圧力により粉末消火薬剤をホース先端のノズルより放射するものです。

① 概 要

全	高	1,135mm
最	大	幅
奥	行	350mm
総	質	量
		約 75kg

◎前面扉上部に表示灯を標準仕様として取り付けています。

② 粉末貯蔵タンク

全	高	約 957mm
外	径	φ 234mm
内	容	積
		35.0L
消	火	剤
充	填	量
	ABC 粉末	33kg
耐	圧	試
験	圧	力
値		3.30MPa
安	全	装
置		3.04MPa

◎タンクは十分な耐圧強度を有し、タンク外面には連結した継手、放出弁レバー、クリーニング回路、安全装置などが取り付けられており、排気、クリーニング操作ができます。

③加圧用ガス容器

規	格	ガス容器は、JIS 規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容	量	1.0L×1 本
ガ	ス	量
		660g (二酸化炭素ガス)

④クリーニング用ガス容器

規	格	ガス容器は、JIS 規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容	量	1.0L×1 本
ガ	ス	量
		660g (二酸化炭素ガス)

⑤放出弁

型	式	記	号	FSM-295、BBS-295
型	式	認	定	番
		号		DV-007 号 (一財・日本消防設備安全センター認定品)
呼	び	径		15A
耐	圧	試	験	圧
力	値			3.32MPa

⑥ホース及びノズル

ホース 長さ 20m 内径 12.7mm 外径 21.0mm
 ノズル 口径 8.0mm 蝶ハンドル (コック) 開閉式

3. 放射性能

ホースの先端に取り付けられたノズルにより放射するので、次の性能を有しています。

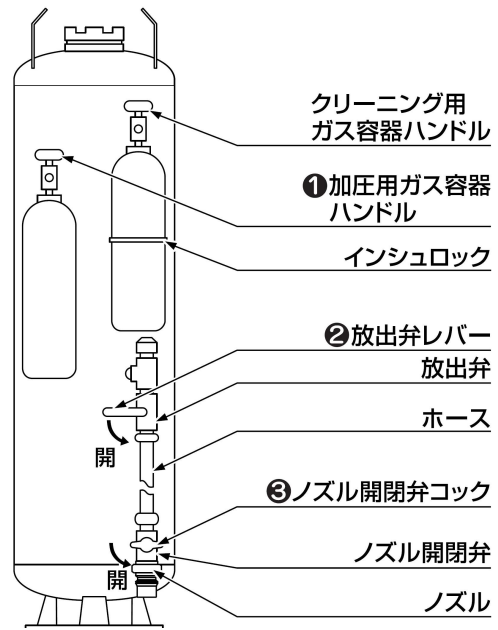
放射量 28.0kg / min
 有効放射時間 約 64 秒
 有効距離 8~10m

4. 設置上の注意事項

- (1) 加圧用ガス容器ハンドル (黄色) ①が閉じていることを確認してください。
- (2) 放出弁レバー②が『閉』になっていることを確認してください。
- (3) ノズル開閉弁コック③が『閉』になっていることを確認してください

5. 使用方法

- (1) 加圧用ガス容器ハンドル①を左 (全開) に回す。
- (2) 放出弁レバー②を『開』の位置に下げる。
- (3) ノズル開閉弁からホース部を持ちホースを取り出し、ノズル開閉弁コック③を全開し、火の根元を掃くように消火する。



6. 定期点検

法で定められた点検を定期的に行ってください。

- 6ヶ月に1回以上の点検は点検資格を有するものに依頼して行ってください。

7. 使用後の処理

(1)排気操作を行ってください。

1. ノズル開閉弁からホース部を持ち、放出弁レバー②を全開にして、加圧用ガス容器のハンドル (黄色) ①も全開にしてください。
2. ノズル開閉弁コック③を左に回して開け、粉末貯蔵容器内の残留ガスを排気してください。
3. 排気後、ノズル開閉弁コック③を右に回して閉じてください。

(2)クリーニング操作 (排気操作後)を行ってください。

1. ホースを放出弁から外してください。
2. クリーニング用ガス容器固定用インシュロックを切って容器をとりはずし、キャップをとってください。
3. ノズルをノズル開閉弁からはずし、ノズル開閉弁をクリーニング用ガス容器に接続してください。ノズル開閉弁を左に回して全開にしてください。
4. クリーニング用ガス容器に接続していないホースの先を手で持ち、人にむけないようにして、クリーニング用ガス容器のハンドルをゆっくり開け、ガスを最後まで放出して、ホースをクリーニングしてください。

(3)再充てんは必ず消防設備士によって行ってください

- 二酸化炭素ガス及び粉末消火薬剤の充てん後は「設置時の注意」を確認してください。
- ※お求めになった販売店などの専門業者が当社営業所に詰め替えを依頼してください。

(4)ガス容器を廃棄する場合は、必ず販売店か製造元にご相談ください。

- 古くなったからといって勝手に捨てるのは危険です。絶対に捨てないでください。

粉 末 消 火 薬 剤 仕 様 書

項目 \ 消火薬剤	粉末薬剤 (ABC) 消火薬剤
型 式 記 号	薬第 21~4 号
組 成	リン酸二水素アンモニウム 94.0% 及び硫酸アンモニウム 流動性賦与剤および防湿剤等 6.0%
外 観	淡紅色微粉末
粒 度	180 マイクロメートル 99.0%以上通過
見 掛 の 比 重	0.893g / cm ³
沈 降 (水 面 散 布)	1 時間以内に沈降しない
吸 湿 性	2%以下
適 応 火 災	普通火災、油火災、電気火災
備 考	